

「平成26年度地域ICT利活用普及促進セミナーin熊本」を 開催しました

九州総合通信局（局長：上原 仁）は、平成27年2月16日、「平成26年度地域ICT利活用普及促進セミナーin熊本」を、熊本市国際交流会館ホールで開催し、74名の参加がありました。

このセミナーは、先進事例を紹介することによりそれぞれの地域における様々な課題解決に役立ていただくことを目的に毎年開催しているもので、今回は医療・福祉をテーマに基調講演、事例紹介3件、総務省の施策説明、パネルディスカッションを行いました。

【講演】

- 「地域を興す、地域でつくる保健・医療・福祉連携」
地域情報化アドバイザーの工藤早苗氏による基調講演。
- 「ICTで救急医療現場は変えられるか？」
佐賀県の円城寺雄介氏から全国初のタブレット端末を活用した搬送支援機能を有する救急医療システムを構築した事例を紹介。
- 「地域福祉活動サポートネットワーク構築事業」
一般社団法人阿蘇テレワークセンターの江藤幸浩氏から超高速ブロードバンド環境を整備し、ICTを活用した高齢者の見守りなど地域の福祉をサポートした事例を紹介。
- 「ICT活用による疾病管理事業」
特定非営利活動法人アジアン・エイジング・ビジネスセンターの清崎昭紀氏から特定健診結果をデータベース化し、レセプトデータの一部を組み込んだPHR (personal health record) 基盤を構築し、疾病管理事業を創出した事例を紹介。

【施策説明】

総務省地域通信振興課山下公也係長が施策を説明。

【パネルディスカッション】

コーディネーターの鹿児島大学教授升屋正人氏と講師4名によるパネルディスカッションを行い、会場からの質問を絡めながらICTを活用した地域課題解決のための討論を行いました。



お問い合わせ先：情報通信振興課(096-326-7825)